

日本の四季彩 ときに～冬春夏秋～

いま、ここから、
また新たな千住の世界が繰り広げられる。



冬の一隅(部分)



夜桜満開



光



晩夏

軽井沢千住博美術館 Ten Year Anniversary Exhibition 開館10年の軌跡展

開館10周年記念新作 - 冬の一隅 - 本邦初公開

2021年3月1日(日) → 12月25日(土)

軽井沢千住博美術館

HIROSHI SENJU MUSEUM KARUIZAWA

[開館時間] 9:30 ~ 17:00(入館は16:30まで) 火曜定休(但し、祝日の場合とGW、7~9月は無休)

[入館料] 一般:1500円/学生:1000円/中学生以下・障がい者:無料

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉815 TEL. 0267-46-6565

<https://www.senju-museum.jp/>



軽井沢千住博美術館 開館10年の軌跡展

開館10周年記念新作 - 冬の一隅 - 本邦初公開

2021年3月1日(日) → 12月25日(日)



千住博 (せんじゅ ひろし)

日本画家。1958年東京都生まれ。
東京藝術大学美術学部絵画科日本画専攻卒業。
同大学院後期博士課程単位取得満期退学。
1995年にヴェネツィア・ビエンナーレ絵画部門で東洋人初の名誉賞を受賞。現在、京都芸術大学大学院教授を務めるほか、NYを拠点に制作活動を展開。駅や空港のアートディレクションを手掛けるなど自由な発想と表現で国内外から高い評価を受ける。

2011年10月に開館した当館は、今年10周年を迎えます。開館に向けた期間、千住博が東京藝術大学在学中に描いた「六月の空」(1978年)から「ウォーターフォール」(2011年)まで、その間の作家の代表作を収蔵してまいりました。開館後は、1995年第46回ヴェネツィア・ビエンナーレで名誉賞を受賞した「The Fall」など、過去の代表作の収蔵もありましたが、積極的に新作の収集に努め、10年間で新旧24点がコレクションに加わりました。本展では、新しく収蔵した新作の「冬の一隅」(2020年)を公開します。



当館が立地する軽井沢は豊かな自然と文化が調和した場所として知られております。千住博は開館後も毎年美術館を訪れ、軽井沢の自然に触れることも契機となり、自然をモチーフにした作品が生み出されました。本展で公開する新作「冬の一隅」もその一つです。避暑地として知られる軽井沢では、ビクターの殆どは春から秋に訪れ、それら季節の自然の美しさについては多く称賛されています。一方で、冬の軽井沢の自然の美について語られる声はあまりありません。「冬の一隅」は、そんな冬的美について語るように描かれた作品です。モノトーンの色調で描かれ、今にも小雪が舞ってきそうな寂寥感が広がる冬の空の、その弱まった太陽から、わずかながらも確かに陽光が差し、湖面と樹木の一部を照らしています。モノトーンの画面による、厳かで神秘的な千住博の美の世界が広がります。



「冬の一隅」の収蔵により、当館のコレクションには春夏秋冬の四季をモチーフとした作品が揃うことになりました。春は、夜を照らす桜花が描かれた「夜桜満開」、夏は、初夏の明け方に清々しくも不思議な陽光が差し込む森が描かれた「光」、秋は、夏という語を用いながらも、初秋の陽の光が暮れることを惜しむかのように彼方を照らす陽の余韻を描いた「晩夏」、そして新作「冬の一隅」です。これらの四季の絵画を主題として、本展では四季をテーマとした展示構成で企画されています。千住博の画業40年を季節の一巡りとして、ビルシリーズ、自然の描写、滝、波、崖まで、絵画のモチーフの変遷により見ていくことができます。また、開館10周年の当館の軌跡も、収蔵コレクションの展示を通じご覧いただけます。



軽井沢千住博美術館

HIROSHI SENJU MUSEUM KARUIZAWA



館内撮影 / 阿野 太一

建築家・西沢立衛氏による開放感あふれる建造物も当館の大きな特徴です。

当館の設計を担当したのは、妹島和世氏とのユニットSANAAにて建築界のノーベル賞と称されるプリツカー賞を受賞した西沢立衛氏。自然光がふんだんに差し込む大型の光井戸、元々の地形を生かして緩やかに傾斜した床、周囲の緑がスクリーン越しに見えるガラス張りの壁面など、自然との調和が至るところに感じられるその建造物は、千住博の世界観と呼応して、至福の美空間を創り出しています。



併設施設	<ul style="list-style-type: none"> ◆カラーリーフガーデン 美術館の周囲に植栽された150種類以上の木々や草花を通じて自然がおりなす季節の彩りを堪能いただけます。 ◆ギャラリー ジャンルを越えた様々な企画展や催しを随時開催しています。 ◆ベーカリー・カフェ 軽井沢の老舗「ブランジェ浅野屋」のパンをお楽しみいただけます。 ◆ミュージアムショップ 各種オリジナルグッズやショップ推奨アイテムなど、価値ある品を取り揃えています。
開館時間	9:30 ~ 17:00 (最終入館時間は16:30)
休館日	火曜日 (但し、祝日の場合とGWは開館) [7月 - 9月] 無休 [12月26日 - 2月末日] 冬期休館
入館料	[一般] 1500円 [学生] 1000円 [中学生以下・障がい者] 無料
駐車・駐輪	車60台、自転車30台、大型バス5台収容可能
運営	公益財団法人 国際文化カレッジ / TEL: 03-3361-1811

至 佐久・長野 至 高崎・東京

〒389-0111 長野県北佐久郡軽井沢町長倉815
TEL: 0267-46-6565 / FAX: 0267-46-6644

軽井沢駅 (JR北陸新幹線・しなの鉄道) 下車、タクシー約10分
中軽井沢駅 (しなの鉄道) 下車、タクシー約5分
上信越自動車道碓氷軽井沢インターチェンジより車で約15分

<https://www.senju-museum.jp/>